



中距離電車停車に向けた検討③

JR川口駅の課題である混雑緩和はもとより、本格化する人口減少社会や、再加速する東京一極集中の中で、今後、**首都圏近郊の都市間競争を勝ち抜くための原動力**になるものとして、中距離電車停車に向けた検討を進めています。

中距離電車停車の実現に向けた今後の見通しは？

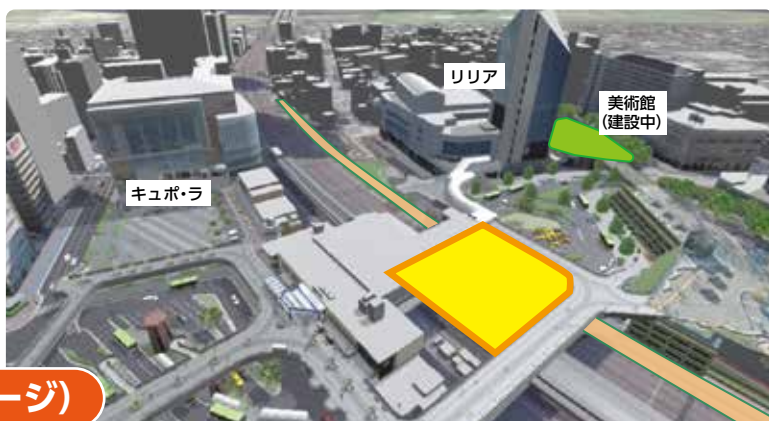
令和6年1月にJR東日本から提出された調査結果報告を受け、現在、JR東日本と基本協定締結に向けた協議を実施しています。基本協定を締結した場合、その後、**測量・設計に数年程度※**を要し、さらに、上野東京ラインのホーム供用開始までには**10～12年程度※**の工事期間を要します。

※今後の調整、協議の状況により測量・設計や工事に要する期間は変動する可能性があります。



中距離電車のホームの位置はどこになるの？

上野東京ラインのホームの整備位置は京浜東北線ホームの西側になります（京浜東北線のホームの位置は変わりません）。また、ホームの新設に併せて、駅舎の建て替えも必要となります。



新設ホームと新駅舎の位置（イメージ）



次回は、駅整備の計画案をお示しし、パブリックコメント（意見募集）を開始する予定です。

問い合わせ…都市計画課 ☎048-242-6332 FAX 048-285-2003